

平成 30 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等

1. 日時：2018年6月23日(土) 13時～15時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

13時～15時 本人交流会

日本認知症ケア学会に参加した若年性認知症支援コーディネーターより報告会  
自助グループのみなさんとミーティング

3. 当日の様子

参加者数 16人 （内訳：当事者5名、家族7名、専門職3名、一般1名） ※新規2世帯

4. 様子と所感

本日は先に行なわれた日本認知症ケア学会に参加した沖縄県若年性認知症支援コーディネーターより学会参加報告を行ないました。仙台の当事者グループの自主企画セッションでは多数の聴講者がおり、その内容は大変心に響くものでした。仙台の丹野さんは「認知症と診断された途端に守られてしまい、出来る事までを奪われる。できることは最後までさせてほしい。守られすぎて自立の機会を奪わないでほしい」というメッセージを述べていたことを伝達しました。

当事者グループのみなさんから、NPO法人のイベント（RUN伴2018）のTシャツ発送作業を請け負うことになったことを報告されていました。11月にその作業を行なうということで、カフェにおみえになっていた皆さんへ、参加を募られていました。「みなさん、がんばろう！」と意気込みを語られていました。



次回：平成 30 年 7 月 21 日 10 時～12 時 支援者フォローアップ（事例検討会）  
13 時～15 時 若年性認知症カフェ